

# 施政方針に対する質問

本会議での各議員の施政方針に対する質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



二ニュー市民クラブ  
伊藤 栄一

## 特色ある学校教育を

議員 市長は施政方針の中で、学校教育については、思いやりの心と健康な体、そして豊かな想像力と郷土愛をはぐくむことを目指していくと述べている。

本市の学校教育においては、先人の知恵が凝縮された「ことわざ」の活用など特色ある教育を行われるとともに、道徳やマナーの指導に努め、先生と生徒のきずなを深めていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。  
教育長 本市教育委員会としては「生きる力を育てる」ことを教育の重点施策に掲げている。中でも人間としてのあり方を自覚し、人生をよりよく生きるための基礎となる道徳性の育成が重要と考えている。教師は子供の将来の生き方に大きなかわりを持っており、子供とのふれ

あいを通じた信頼関係の構築が大切と認識している。「教育は人なり」といわれるように、今後も信頼され、尊敬される教師の育成を図り、子供と教師の強いきずなを生み出す学校教育を推進していきたい。

## 北浜沢乙線の整備は

議員 赤坂から壱番館までの道路に加え、海辺の賑わい地区が整備されると、人の流れも大きく変わり表坂付近が空洞化することが考えられる。表坂付近に駐車場があれば、人の往来も多くなり、まちのにぎわいも増すと考えるがどうか。また赤坂から向ヶ丘までの整備計画についても伺いたい。

市長 表坂エリアは賑わい軸の形成に向けた拠点の一つであり、集客力を高める駐車場の集約整備が課題である。今後は集約整



北浜沢乙線

# 施政方針に対する質問

備による一つの流れを呼び戻す取り組みを神社関係者の理解を深めながら進めてまいりたい。

赤坂交差点から向ヶ丘交差点の区域は北浜沢乙線の第二期工区と呼ばれており、具体的な計画は県においても今後の課題となっている。地形的制約や家屋が密集し、事業化には基本的な整理が必要であり、計画策定時から地域の方々の意見が取り入れられるコミュニケーション型事業のモデルケースとしての取り組みを県に要望してまいりたい。



二ニュー市民クラブ  
鈴木 昭一

## しおナビ百円バスは

議員 しおナビ百円バスについては市民に好評を得ているが、運行会社は、赤字路線と位置づけ、廃止路線に組み入れたと発表した。市長はこのような情勢の中、今後とも支援を行いつながら運行続行を図るのか。また現在より多額の支援を求められた場合それに応えるのか。運行会社の経営方針による廃止路線拡大に伴う市民生活への影響について市長の見解を伺いたい。

市長 市としては今後早急に運行事業者と本格運行に向け協議を進めていく。一方、百円バス



しおナビ100円バス

も廃止路線の対象となっており、通勤通学など市民生活への影響が予想されることから、知事に対し「路線の存続」と併せ「運行への自治体補助には限界があり県の対応を」と要望した。

知事からは「生活の足を確保する支援策の検討に着手したい」との回答を得ている。今後は路線バスの継続運行について要望するとともに、鉄道も含めた総合交通体系の中で、バス運行のあり方について検討していく。

## 塩釜地区の広域行政は

議員 現在消防事務組合と環境事務組合があるが、それに合わせた議会が二市三町の議員で構成されている。しかし、近年二つの事務組合を複合事務組合に統合すべきであるとも議論がされている。現下の厳しい財政状況の中では、真剣に考えなければならぬと思うが、市長の見

解を伺いたい。また関係各首長はどのような考えをもっていかのかご存知であれば伺いたい。  
市長 二市三町には三つの事務組合が存在していることから、事務処理、運営面での効率化や弾力的な人材活用を望む声等も聞かれ、市町村の合併が進む中で事務組合についてもその効率化が求められてくるものと考えている。

塩竈市の市長としても、現在の複数の一部事務組合では、運営上重複が見られ、効率化を図る上からも、これらを統合した事務組合の必要性を感じている。今後、関係市町の首長とともに本圏域にとって有効な広域行政のあり方について、協議を進めてまいりたい。



二ニュー市民クラブ  
香取 嗣雄

## 市営住宅建設は

議員 昭和三十八年建設の玉川市営住宅は、築後四十二年を経過し、平成十四年に基本設計がなされたが、今後の建替えはどのような予定なのか。また、市内の小規模工事業者は、この不況の中にあつて、仕事をほとんど大手住宅建設メーカーに奪われている実情にある。当業界の



塩竈市魚市場

## 水産業の振興は

議員 水産加工業界は、国際的

救済とともに、小規模な発注工事にについては、指名登録していない業者にも受注機会を拡大してはどうか。市長に伺いたい。市長 老朽化している玉川住宅の建替えについては、木造住宅を採用し地域経済や産業の活性化を考えた計画としている。整備時期は、建設中の梅の宮住宅の完成後、国の住宅政策の動向や本市公営住宅ストック総合計画の見直しを図りながら、早い時期に建設準備に入りたい。百三十万円以下の工事は、未登録でも参加できるが、実情は指名登録業者中心の発注となっている。今後、小規模事業者向けに簡易な登録申請による希望登録制度等を検討し、受注機会の確保に努めてまいりたい。

な漁業環境の変化により、倒産や廃業に追い込まれている現状にある。現在の加工原料の推移や業者への融資制度について伺いたい。また、水揚げ増加に効果のあった漁船誘致活動について、今年はどうのように考えているのか。更に碎氷・冷凍業者も厳しい状態にあることから、業界への対応と漁港背後地における水産物流センターの進捗状況についても伺いたい。

市長 水産加工原魚が世界的に不足する中、原材料を前浜ものに転換する動きもあり、市として支援していく。漁船誘致については、その効果を踏まえ今年も実施する計画である。冷凍製水業者の操業停止等により、氷の不足が懸念されることから、事業継続や施設の更新等についても業界と協議を行っていく。水産物流センターについては、県有地払い下げ価格が県より示され、間もなく組合と企業の方から正式な意思表示が行われる予定である。



曾我 ミヨ

日本共産党塩竈市議員

## 野々島及び桂島の施設整備は

議員 島民から強く要望されている野々島の排水処理施設は、

三カ年で整備を行う予定となっているが、どのように進めようとしているのか。またフラワールアイランド観光農園の排水処理施設についても伺いたい。

桂島の方々が集会所の整備要望を行っているが、市から県への働きかけについて伺いたい。市長 排水処理施設については、ブルーセンター周辺の家屋密集地区から整備に着手をし、この地区は漁業集落排水処理施設で処理を行うが、その他の地区については小型合併浄化槽で処理する計画になっている。フラワールアイランド地区の公衆トイレは事業者と計画調整を図るため、今後協議を重ねてまいりたい。桂島においては十八年度から県が事業主体となり桂島漁港広域水産物供給基盤整備事業の中の環境整備事業が進められ、観光客待合所としての機能を有する休憩所が整備される予定であり、今後県との間で早期整備に向けた協議を進めてまいりたい。

## 海辺の賑わい地区の整備は

議員 海辺の賑わい地区の整備に関し次の点について伺いたい。  
①大手参画事業者とJ R貨物との賃貸借契約が年内に整うことになれば、今後、土地開発公社とのかわりはどうなるのか。



海辺の賑わい地区

②市は地元事業者が参画できるようにするとしているが、大手参画事業者との協議は進んでいるのか、またその手法は。

市長 市は進出事業者に対し、地元事業者の参画と観光や地域性豊かな魅力ある地域づくりを要請する一方で、商工会議所と連携し地元参画の環境づくりに努めている。昨年十二月下旬には、商工会議所主催による進出事業者と地元の参画希望者の意見交換が市の職員も参加し行われている。進出事業者からは、仲卸市場やすしの地元資源を生かし地域と連携した魅力ある施設としたい意向が示されている。建設部長 進出事業者とJ R貨物は一定の条件が整いつつあり、開発公社としては理事会を開催し賃貸借契約での具体的な条件の取りまとめを行う段階にある。



中川 邦彦

日本共産党塩竈市議員

## 若年層の雇用対策を

議員 塩竈地域では、失業や雇用状況が好転せず、深刻な状況が続いている。雇用創出・確保のために新たな交付金事業の創設を国に働きかけるなど、本市若年層の雇用拡大と新規事業の取り組みについて見解を伺いたい。また、行政として、就職や職業訓練、解雇や労働条件に関する問題などの相談に応じ、解決を図るような窓口の創設が求められていると思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 若年層の雇用対策の一環として、平成十五年から市内企業を訪問し新規高校卒業者の雇用拡大の要請活動を実施している。訪問活動の成果として、一月末時点で四十五名の追加求人があり、既に二十六名の採用が内定している。本市には就業活動を支援する特定窓口はないが、ハローワーク塩竈が立地している利点を最大限に活用するとともに、企業と地元高校就職担当の先生方との密接な連携を図り、今後ともなお一層、若年層の雇用対策に取り組んでまいりたい。

### 地震対策の取り組みは

**議員** 一般木造住宅の耐震診断事業の取組みと町内会や団体を中心に行っている防災研修会の内容について伺いたい。また、日本海溝・千島海溝型地震に係る防災対策の推進に関する特別措置法による推進計画について伺いたい。津波対策が急務となっているが、GPS津波計の設置と住民の避難経路確保のための交通対策について伺いたい。



防潮堤 (港町一丁目)

**市長** 一般木造住宅の耐震診断件数は、百三十九件で、耐震改修実施件数は十六件である。新年度は、四十件に枠を拡大して実施する。防災研修は、新潟中越地震の被災状況や宮城沖地震の津波被害想定、家具転倒防止策など実態に即した研修を行っている。措置法の地域指定を受け、地震・津波からの防護等をまとめた推進計画の策定に取り

組むとともにGPS津波計の設置について国に積極的に働きかけていく。また、災害時には、車両の使用禁止や乗車中の場合は、身の安全を確保の上、歩いて避難すること等を防災研修会等で啓蒙してまいりたい。



吉川 弘  
日本共産党塩竈市議団

### 玉川小学校等の改修は

**議員** 次の点について伺いたい。

①小中学校の耐震調査を繰り上げて行う考えはないのか。②地震防災対策特別措置法の内容について。③玉小の大規模改修の内容は。また耐震補強工事との関係は。④玉小の給食施設の復旧について。



玉川小学校

**市長** ①耐震診断調査結果に基づく耐震補強工事を平成二十二年までに行う計画である。三小と玉小の補強工事は、財源が確保されたので、年次計画を早めて十七年度に予算計上した。今回地震特措法が一部改正され、学校施設のうち、災害時に避難場所となる体育館も含め、平成二十二年まで延期になる予定なので同制度を活用し耐震補強工事を順次実施していく。③耐震補強工事は構造補強、改修工事では校舎と体育館の内外部の塗

装、トイレや床の改修、給水管の整備等を予定している。④安全確保の観点から二小との共同調理方式で給食提供の準備を進めている。今後は将来の児童生徒数の推移や給食の役割を見据えながら運営方法を検討していく。

## 施政方針に対する質問

### 国民健康保険は

**議員** ①医療制度改革についてどのような認識を持っているのか。②平成二十年度に国保が県一本化されることを理由に十六年度から連続で税率引上げを行ったことについて伺いたい。③短期被保険者証や資格証明書の発行をやめる考えはないのか。短期被保険者証を取りに来ない世帯にも渡す必要があると考えるかどうか。④国保は社会保障であるので行政サービス制限をすべきでないと考えられるかどうか。

**市長** ①医療費適正化の総合的な推進等大きな改革が進められ

ると認識している。②保険財政共同安定化事業を創設し県単位で市町村国保の財政の安定化、保険料の平準化を図っていくこととしている。③納税相談の機会を増す意味でも来庁いただくよう指導を行う。短期被保険者証等の交付は被保険者間の負担の公平を図る観点から滞納対策として実施していく。④不公平感を解消するとともに、サービスを受ける権利と税負担の原則を明確にすることで、納税意識が高まるものと考えている。



福島 紀勝  
社会民主党市議団

### 地震・津波等災害対策の充実に

**議員** 政府の中央防災会議は将来の宮城県沖地震による県内の死者を百四十名と予想している。国が三陸沖に設置するGPS衛



牛生地内

星利用測位システムの津波計により、津波が海岸への到達前に察知できれば多くの人命を救うことにつながる。また防潮水門を遠隔操作する方法も考慮すべきと考えるが見解を伺いたい。さらに自主防災組織の強化のために、地域の防災リーダーの育成も必要と考えるがどうか。

**市長** 地震、津波から地域の方々を守るために、防潮堤の建設、耐震補強、耐震強化を図りながら、地域の方々が安心して居住できるハード面の整備に取り組み始めたところである。またGPS津波計からもたらされる情報を速やかに提供する仕組みづくりに取り組んでいきたい。防潮堤の遠隔操作については、その自動化について県に働きかけを行ってまいりたい。自主防災リーダーについては、今後、市内全域での設置に向けて取り組んでまいりたい。

### 浸水対策と貯留管の整備状況は

**議員** 水害常襲地帯といわれている牛生、芦畔、藤倉、北浜地区等において、水害の被害が徐々に解消されてきている。

工事継続中の中央第三貯留管の整備、県道八幡築港線と関連する牛生第一排水区の雨水排水とポンプアップ稼働の状況、貞

山大橋と貞山橋の間の防潮堤の整備について伺いたい。

**市長** 平成十八年度完成予定の中央第三貯留管は、貯留量で一三五〇ト、同時に設置されるポンプの排水量が一時間当たり八三〇トで港町地区の降雨量に換算すると十八ミリに相当するものであり、水害対策に大きな効果を発揮すると考えている。

牛生地区では、潮位の影響を受けにくい地区は直接貞山運河へ雨水を放流する幹線整備を行い、潮位の影響を受ける低地区は牛生一号雨水幹線によりポンプ場から強制排水を行っている。今後、県道拡幅に伴い県道横断部の幹線整備を行い、道路整備完成後は、速やかな防潮堤の建設着手を県に要請していきたい。



塩釜ネットワーククラブ  
伊藤 博章

## 市立病院改革の取り組みは

**議員** 市立病院においては、再生緊急プランの断行により収支改善に努めているが、不良債務二十五億円が見込まれる中で、自主再建が可能であると考えているのか。また、自主再建の場合、病院だけでなく、一般会計も含めた全体的な視点に立って、具体的な再建計画が必要と考え



塩竈市立病院

るが、市長の見解を伺いたい。

**市長** 病院の経営改善のため、再生緊急プランの実行を最重要課題として、この一年、医師確保や手当の見直し、職員の早期募集退職などに取り組んできた。計画の実行には、職員の理解と協力が不可欠なことから、一定の時間を要することになった。

現在、市立病院は確かに厳しい状況にあるが、職員が必死で再生緊急プランの実行に努力を始めたところであり、まだ道半ばの状態である。市民が安心して暮らせるために病院を継続安定的に経営することは、市に課せられた大きな使命と考えている。全国的な医師不足の中、四月から四名増の十五名体制となることは大きな成果であり、今後尚一層の努力を傾けてまいりたい。

## 自主防災組織の取り組みは

**議員** 自主防災組織の取り組み

は、向こう三軒両隣という小さなコミュニティのコアの再構築により、町内会を活性化し、甚大な被害が発生した時の人命救助や救済到着までの助け合いを目的とするものと考えている。今後、日頃の町内会活動が自主防災組織の活動でもあるという認識が持てるよう、行政支援のあり方を考えるべきと思うが、市長の見解を伺いたい。

**市長** 災害発生時には、まず自らが守るという自助と地域住民が互いに助け合う共助が極めて重要であり、自主防災組織の果たす役割は大きいと認識している。既存の町内会活動に加え、防災の知識や情報に関心を持つて頂き、地域での防災訓練などを通じて徐々に防災組織体制を整ってくるものと考えている。役員の高齢化や若年層の不参加などの課題も認識しており、今後、各町内会の実情に応じた支援心がけ、自主防災組織の育成強化を推進してまいりたい。



公明党  
浅野 敏江

## 少子化対策は

**議員** 本市の未来のため子供を生み育てやすい環境を整えることは大切な要素だと思う。これ

までも子育て支援をしていただいているが、子育てしやすいまち、今後も子育てしたいと思われる取り組みが必要である。本市では庁舎の分散化に加え、子どもに関するニーズが多様化する中、行政の垣根を越えた総合的な子育て支援は難しい点もあると思う。だからこそ市民に優しい行政が今こそ必要だと考えるが市長の見解を伺いたい。

**市長** 現在本市においては、保健センターでの健康や育児相談、社会福祉事務所での保育所の入所、保険年金課での児童手当や各種医療助成等様々な分野で支援策を実施しているが、ご指摘のとおり庁舎が分散している。市としては子育て支援室を将来の核として、当面の間は各部署が緊密な連携を図りながら市民の方々の要請にこたえてまいり



子育て総合支援室

## 小・中学校における防災・防犯対策は

**議員** 本市は子供たちを犯罪や災害から守るため、多様な施策を展開している。しかし、それで完全に身を守れるとも言えない。みずから危険を察知し回避できることが最大の防犯、防災だと思う。KYT（危険予知トレーニング）・状態把握、本質追究、対策樹立、目標設定を行い日頃から危険について話し合い危険を危険と気づき合う手法）を安全教育に用いることで、安全を先取ることができる。市長及び教育長の見解を伺いたい。

**市長** 本市の小・中学校の防災・防犯対策としては、各学校ごとの防災・防犯に関する計画や災害時の対応マニュアルを作成し、関係機関と連携を図りながら、災害や不審者等を想定した訓練を随時実施している。日頃から危機を回避する能力を高めることは危機管理上極めて重要である。繰り返し実施することが安全性を高めると考える。

**教育長** 今後さらに児童生徒も含め教師とともにKYTの手法等も取り入れながら安全対策に努めてまいりたい。

### ◆ 2月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
承認第1号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)5810号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第2号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)5829号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第3号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)5834号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第4号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)5913号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第5号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)5953号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第6号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)5963号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第7号	専決処分承認を求めらるる事について(平成17年(第)6018号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
承認第8号	専決処分承認を求めらるる事について(平成18年(第)59号) 学校給食費請求事件の訴えの提起について	承認
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	同意
議案第1号	平成17年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第2号	平成17年度塩竈市交通事業特別会計補正予算	原案可決
議案第3号	平成17年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第4号	平成17年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第5号	平成17年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	原案可決
議案第6号	平成17年度塩竈市公共駐車場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第7号	平成17年度塩竈市老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決
議案第8号	平成17年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議案第9号	平成17年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第10号	平成17年度塩竈市土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第11号	平成17年度塩竈市立病院事業会計補正予算	原案可決
議案第12号	平成17年度塩竈市水道事業会計補正予算	原案可決
議案第13号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第14号	訴えの提起について	原案可決
議案第15号	訴えの提起について	原案可決
議案第16号	訴えの提起について	原案可決
議案第17号	訴えの提起について	原案可決
議案第18号	塩竈地区消防事務組合の共同処理する事務の変更及び塩竈地区消防事務組合規約の変更について	原案可決
議案第19号	塩竈市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	塩竈市特定疾患患者等に対する見舞金支給条例の一部を改正する等の条例	原案可決
議案第22号	塩竈市老人福祉センター条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	塩竈市老人憩の家条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	塩竈市交通安全指導員条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	塩竈市市民福祉交流センター条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	塩竈市集会所条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第27号	塩竈市営汽船事業条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第28号	塩竈市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第29号	塩竈市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例	原案可決
議案第30号	塩竈市国民保護協議会条例	原案可決
議案第31号	塩竈市職員の特殊勤務手当に関する条例	原案可決
議案第32号	のびのび塩竈っ子プラン推進地域協議会設置条例	原案可決
議案第33号	塩竈市地域包括支援センター条例	原案可決
議案第34号	介護保険法等の一部を改正する法律附則第3条第1項に規定する条例で定める日を定める条例	原案可決
議案第35号	塩竈市いきいき企業支援条例	原案可決
議案第36号	塩竈市水産加工団地排水処理センター設置条例を廃止する条例	原案可決
議案第37号	議会の議員その他非職員の職員の公務員補償等に関する条例及び塩竈市消防団員等公務員補償条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第38号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第39号	塩竈市社会福祉事務所設置に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第40号	平成18年度塩竈市一般会計予算	原案可決
議案第41号	平成18年度塩竈市交通事業特別会計予算	原案可決
議案第42号	平成18年度塩竈市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第43号	平成18年度塩竈市魚市場事業特別会計予算	原案可決
議案第44号	平成18年度塩竈市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第45号	平成18年度塩竈市公共駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第46号	平成18年度塩竈市老人保健医療事業特別会計予算	原案可決
議案第47号	平成18年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第48号	平成18年度塩竈市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決
議案第49号	平成18年度塩竈市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第50号	平成18年度塩竈市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第51号	平成18年度塩竈市立病院事業会計予算	原案可決
議案第52号	平成18年度塩竈市水道事業会計予算	原案可決
議案第53号	塩竈市名誉市民の推挙について	原案可決
議案第54号	宮城県市町村自治振興センターを組織する地方公共団体数の減少について	原案可決
議案第55号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び組合規約の変更について	原案可決
議案第56号	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
議案第57号	浦戸地区辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第58号	固定資産評価審査委員の選任について	同意
議案第59号	塩竈市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第61号	塩竈市立病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案第1号	市長の専決処分事項を指定することについて	原案可決
議員提出議案第2号	「米国産牛肉の早急な輸入再開は行わず、徹底した原因究明と改善策を求める」意見書	原案可決
議員提出議案第3号	出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書	原案可決
議員提出議案第4号	「JR不採用問題」の早期全面解決を求める意見書	原案可決

## 請願

◆今定例会で審議された請願は六件で、審議結果は次のとおりです。

### ○採択したもの

▼「米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求め」意見書提出に関する請願

### ▼出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書提出に関する請願

○閉会中の継続審査としたもの  
▼個人所得課税における各種控除

除の安易な縮小を行わないことを求める意見書提出に関する請願

▼患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める意見書提出についての請願

▼「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する請願

### ○不採択としたもの

▼「次世代育成支援策・保育施策の推進に関わる国の予算拡充」に関する意見書提出の請願

### 【審査経過概要】

不採択の委員長報告を受け、本会議では討論が行われませんでした。  
〈賛成討論〉

## 意見書

◆今定例会で可決された意見書の概要は次のとおりです。

▼「米国産牛肉の早急な輸入再開は行わず、徹底した原因究明と改善策を求める」意見書

▼出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書

▼「JR不採用問題」の早期全面解決を求める意見書

## 人事

◆今定例会において、次の方々が同意されました。

固定資産評価審査委員会の委員の選任  
藤 勇 一 氏

人権擁護委員の推薦  
千葉 三千男 氏

## 編集後記

陽春の光を受け、桜花満開を迎える季節になりました。市議会だより一六二号をお届けいたします。  
(議会報編集委員会 委員長 嶺岸淳一)

### 次回定例会(六月定例会) 六月十二日(月)開会予定